

事務局長方針

事務局長 澤田 誠孝

社団法人亀岡青年会議所は創立以来 31 年間「修練・奉仕・友情」の三信条のもと、明るい豊かな社会の創造を目的とし、様々な運動を展開してまいりました。諸先輩方の熱きおもい、志をもって運動を続けてこられた功績により亀岡青年会議所はまちの皆様や行政に認めていただける団体となりました。私たちはこの現実に慢心することなく、今一度我々の役割を認識し、未来を創造し、めまぐるしく変化する社会情勢に柔軟に対応しつつ、まちの原動力とならなければいけません。

本年度事務局では、文章だけの情報交換に頼ることなく常に LOM 運営の中核であるよう対話し吸収することを心がけ、LOM 内外から取入れた意見や情報の検証を行い、集約、管理した情報を早期告知し LOM メンバーが情報を共有し、メンバー一人ひとりが時代と共に変革している青年会議所活動の牽引者であることを意識して頂き、貴重な時間を効果的に活動できるよう効率的かつ機能的な運営を行います。

また、本年も多数のメンバーが（公社）日本青年会議所、近畿地区協議会、京都ブロック協議会へ出向します。機会をチャンスと捉え亀岡青年会議所を代表していることを念頭におき、「礼節・品位」のある幅広い活動をし、個人の資質を向上させたいという新たな気づきを得て、人脈の構築をし、活動を共に行うことで友情を芽生えさせ出向による実践的なメリットを LOM メンバーに還元することで、組織は更に進化します。

諸先輩方の熱き情熱で取得されました社団法人格についても、近年新たな基準が設けられたことにより、今後公益法人としての社会的責任と適正な財務運営を厳しく問われることとなりました。事業予算の制限、事業に対する制約の増加が各地域の青年会議所を問わず大きな課題となっている昨今ですが、このような中でこそ亀岡青年会議所はメンバー一人ひとりが品格を持った公益法人として、明るい豊かなまちの実現を目指し、新たな時代の変化へ対応していきます。

そして、JAYCEE として地域社会人として、当たり前のことを人には真似できないほど一生懸命に取り組む、「凡時徹底」を常に心がけ亀岡 JC として公益法人として、地域にとけこみ、まちの原動力となり、よりいっそう必要とされる組織を構築します。

本年度、「だれよりも強くあれ」のスローガンのもと、穏やかな心で強い精神を持って亀岡青年会議所メンバーが足並みを揃えて活動できるよう、円滑な事務運営に取り組んでまいります。

むすびに、会員諸兄のご理解とご協力をお願いいたしまして事務局長方針といたします。